

# 株式会社レスターホールディングス

2023年3月期第2四半期  
決算補足説明資料

2022年11月10日



2023年3月期第2四半期  
連結業績ハイライト（累計）



# 業績ハイライト

単位：百万円	2022年3月期 第2四半期		2023年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	192,616	—	239,795	—	47,178	24.5%
売上総利益	13,913	7.2%	20,822	8.7%	6,909	49.7%
販売管理費	10,495	5.4%	12,371	5.2%	1,876	17.9%
営業利益	3,417	1.8%	8,450	3.5%	5,033	147.3%
経常利益	3,240	1.7%	8,479	3.5%	5,238	161.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	3,956	2.1%	4,632	1.9%	675	17.1%

## ■ 売上高

半導体の需給状況に強弱があるなか、引き続き産業機器や車載機器向けなど堅調な需要により、半導体及び電子部品事業や調達事業が好調に推移し増収、また、株式会社PALTEKの連結子会社化も増収に寄与

## ■ 営業利益・経常利益

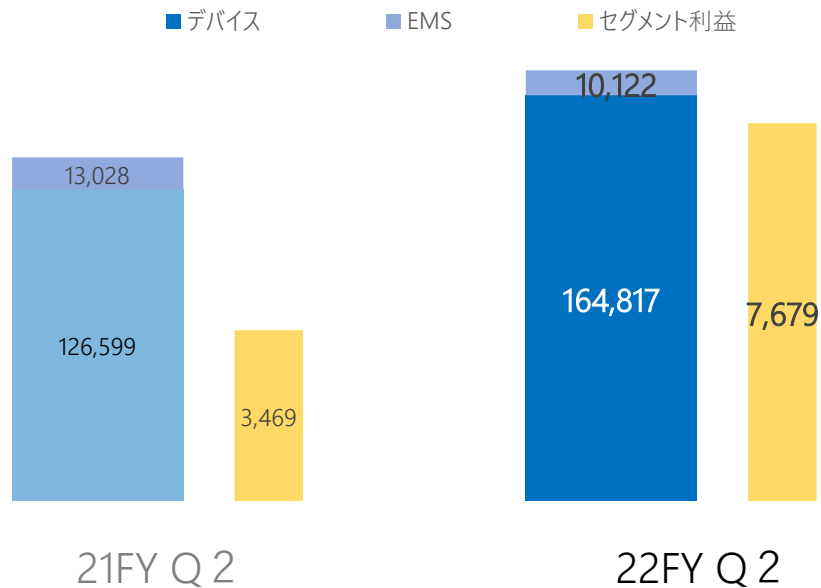
増収と円安効果による売上総利益の増加などにより増益

## ■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

主に特別調査費用等422百万円、投資有価証券評価損269百万円などの特別損失725百万円を計上したが増益



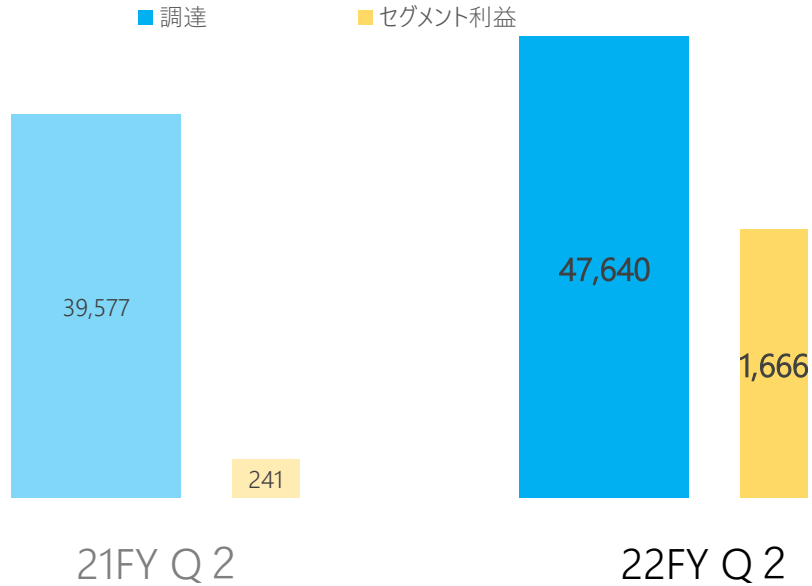
# 半導体及び電子部品事業



## 【ポイント】

- デバイス  
産業機器・車載機器向けなどの需要増や新規案件の売上寄与、P A L T E Kの連結子会社化などにより増収
- EMS  
有機E LディスプレイのノートP C向け需要増及び車載向けの新規受注による売上増はあったものの、主力のスマートフォン向けの需要減少などの影響が大きく減収
- セグメント利益  
E M S事業の減収による減益があったが、デバイス事業の増収並びに円安効果などにより増益

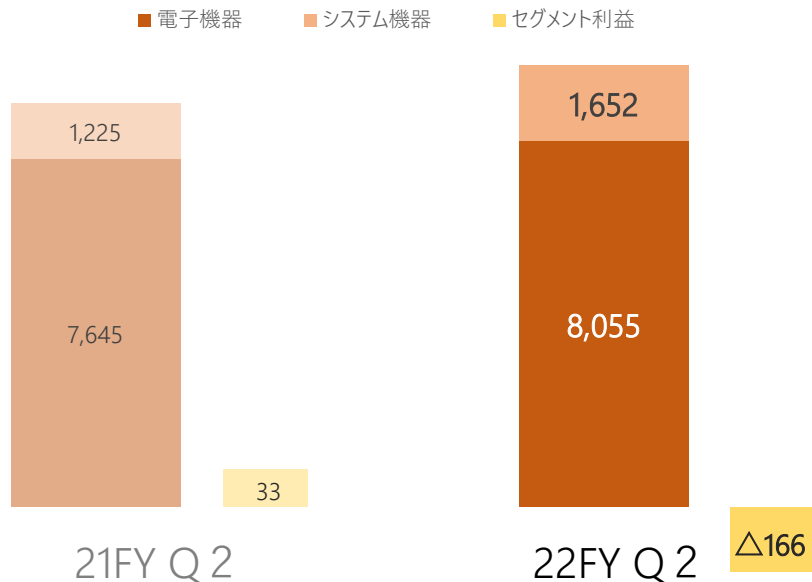
# 調達事業



## 【ポイント】

- 調達  
パナソニックグループ向けが堅調に推移し、パナソニックグループ向け以外の新規取引も奏功し増収
- セグメント利益  
円安効果による売上総利益の増加などにより増益

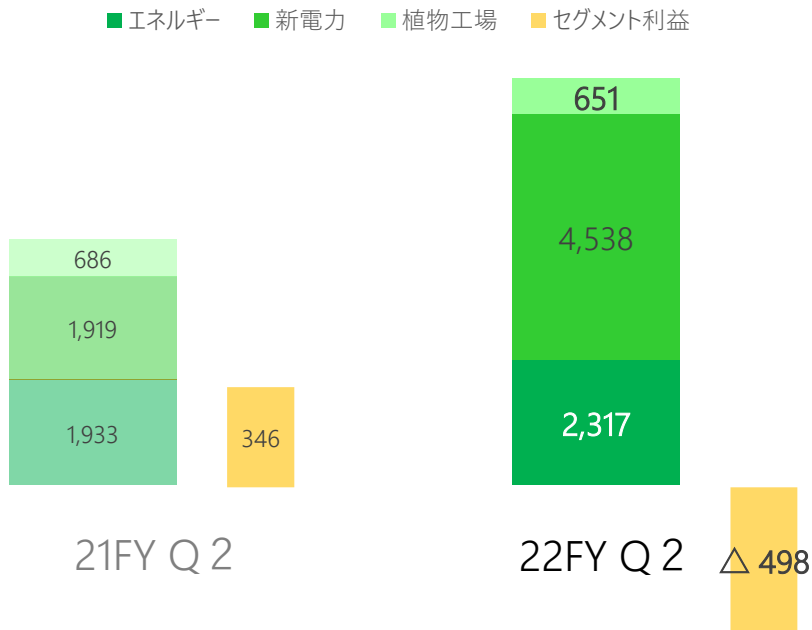
# 電子機器事業



## 【ポイント】

- 電子機器  
引き続き半導体不足の影響により、大型案件やシステム納入の遅延などがあったものの、医療向けの伸長や新規案件により増収
- システム機器  
カードサービス株式会社を連結子会社化したことによる海外製決済端末の売上増加、並びにオフィス向け出入管理端末の需要増加により増収
- セグメント利益  
電子機器事業における追加工数の発生による費用増加や、円安影響並びに販売管理費などのコスト増もあり減益

# 環境エネルギー事業



## 【ポイント】

### ・ エネルギー

国内外の太陽光・風力発電所の新設による発電量の増加にともない増収

	21FY Q2	22FY Q2	YoY	
エネルギー事業(百万円) (新電力への売上含む)	1,240	1,424	184	14.8%
太陽光発電量 (MW)	国内	146	151	5 3.4%
	海外	18	32	14 77.9%
	合計	164	183	19 11.6%

### ・ 新電力

官需向けを中心とした電力需要の増加があり増収

### ・ 植物工場

スーパー向けや外食需要が増加したが、新製品の量産化が遅れたこともありやや減収

### ・ セグメント利益

エネルギー事業は増益となったが、新電力事業において資源高にともなう電力調達価格の高騰による影響が大きく減益

# 連結貸借対照表

増収に伴う売掛金、棚卸資産の増加、短期借入金の増加等

(単位：百万円)

	2022年3月末	2022年9月末
資産の部		
流動資産	185,525	221,493
固定資産	56,432	57,548
資産合計	241,958	279,042
負債純資産の部		
流動負債	139,346	171,467
固定負債	20,954	24,297
純資産	81,657	83,277
負債純資産合計	241,958	279,042
自己資本比率	32.1%	28.3%





# キャッシュフロー

(単位：百万円)

現金及び現金同等物の期首残高

33,438

■ 営業活動によるCF

△16,251

> 主に棚卸資産の増加、売上債権の増加

■ 投資活動によるCF

△875

> 主に有形固定資産の売却による収入、及び取得による支出

■ 財務活動によるCF

10,658

> 主に短期借入金の純増加、長期借入金の収入と返済、配当金の支払等

■ 換算差額等

1,546

現金及び現金同等物の期末残高

28,517



# 2023年3月期通期見通しと進捗

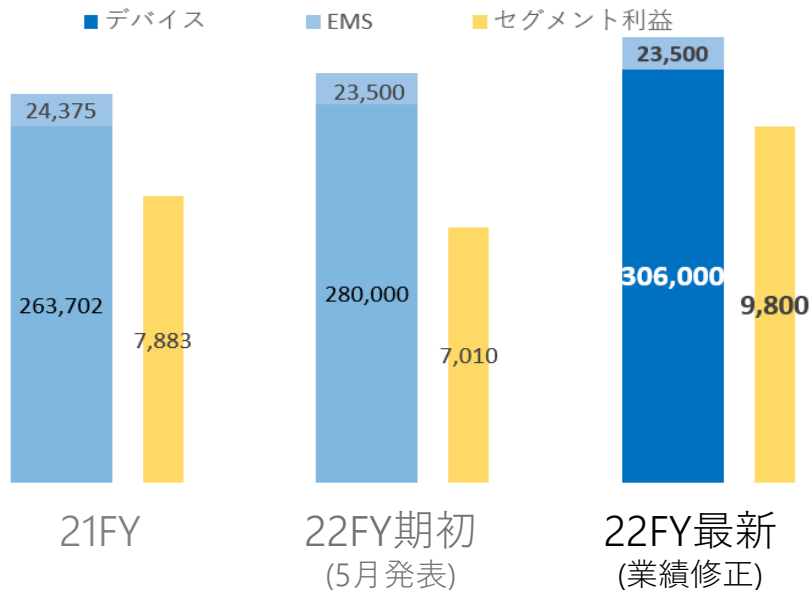
■2022年11月10日に通期業績見通しを修正いたしました。

単位：百万円	前回予想 (2022年5月11日発表)	今回予想 (2022年11月10日発表)	増減率	2023年3月期 第2四半期	進捗率
売上高	445,000	465,000	4.5%	239,795	51.5%
営業利益	8,500	13,000	41.2%	8,450	65.0%
経常利益	7,500	12,000	46.7%	8,479	70.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	6,000	7,000	16.7%	4,632	66.1%

詳細については、本日別途開示いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。<https://pdf.irpocket.com/C3156/aG1f/ljpo/LVZo.pdf>



# 半導体及び電子部品事業



## 【ポイント】

- デバイス  
上期は産業機器・車載機器向け並びに新規案件の売上寄与など好調に推移し、下期の弱含みは織り込むものの、期初計画に対して増収
- EMS  
生産ミックスの変化はありながらも、ほぼ期初計画通りの売上見込み
- セグメント利益  
デバイス事業の増収や円安効果などにより期初計画に対して増益

## 事業概況

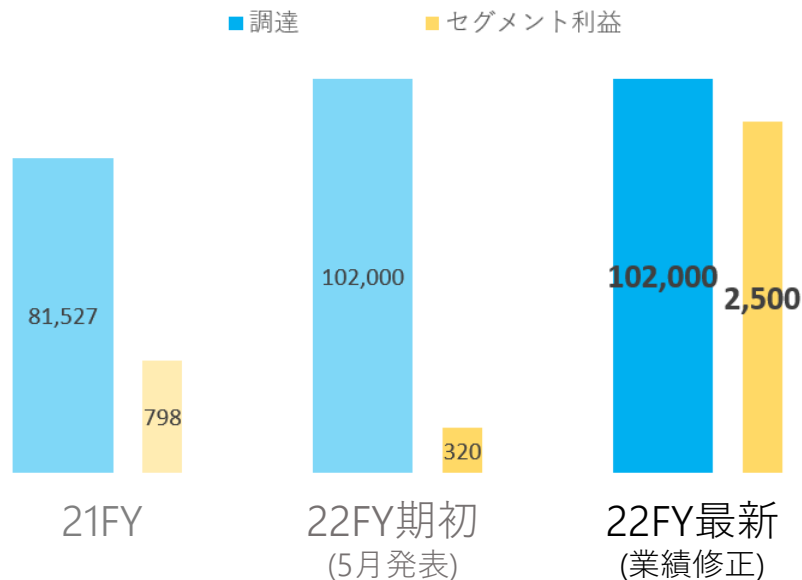
### デバイス

- 強みの商材を活かし画像センシングシステムを産業機器向けなどに拡大や新規案件への取組強化
- モジュール化やシステムソリューション開発など更なる付加価値拡大。
- FPGAは引き続き需要旺盛

### EMS

- スマホ・タブレット・PC向けのOLED用モジュールなどを受託生産
- OLED用車載向けモジュール、その他新規案件獲得にも注力

# 調達事業



## 【ポイント】

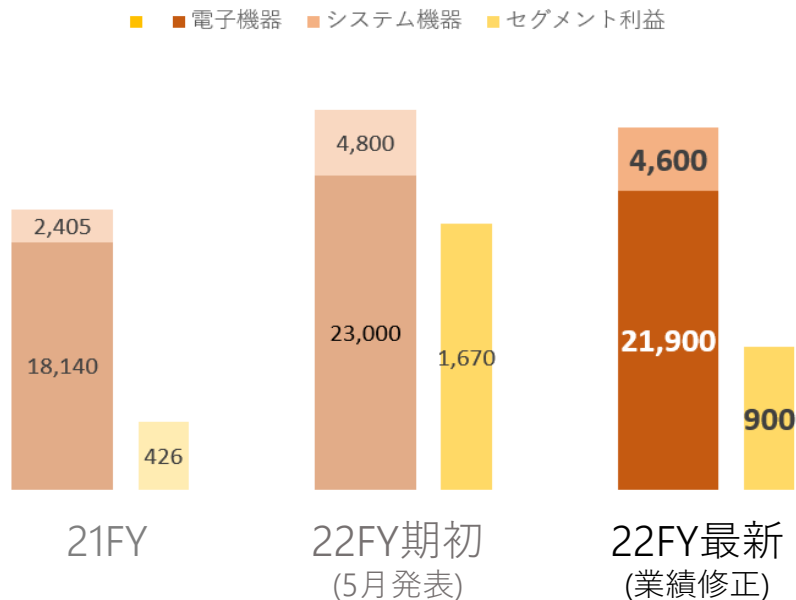
- 調達  
期初計画通りの売上見込み
- セグメント利益  
上期の円安効果による上振れもあり、期初計画に対して増益

## 事業概況

### 調達

- パナソニックグループ向けの調達SCM事業が主力
- 商社機能におけるノウハウをベースに各種調達ネットワークを活かして当社グループの売上拡大に貢献
- 当社グループの顧客に対して調達サービスの新規展開に注力

# 電子機器事業



## 【ポイント】

- 電子機器  
季節性要因もあり下期偏重の売上構造に変化はないが、半導体不足などによる販売機会の後ろ倒しもあり、期初計画に対してやや減収
- システム機器  
期初計画に対してほぼ横ばいの見通し
- セグメント利益  
円安影響による輸入仕入れコストの増加もあり、期初計画に対しては減益

## 事業概況

### 電子機器

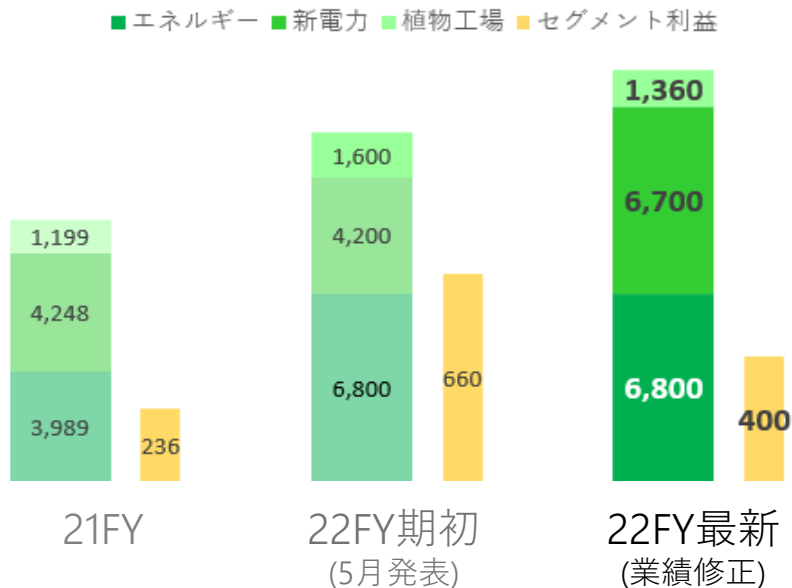
- 音響領域に強みを持つタックシステムをグループ化し映像と音響を一体化したソリューションにて事業強化
- 自治体・文教・医療系向けなどに映像・画像系ソリューションにて事業推進

### システム機器

- 決済端末国内シェア4割を持つカードサービス社とレスターキャストック社は11月1日に完全統合し、シナジー効果を推進
- キャッシュレス決済・マイナンバー領域で事業拡大



# 環境エネルギー事業



## 【ポイント】

- エネルギー  
 期初計画に変更なし
- 新電力  
 上期の上振れもあり、期初計画比は増収
- 植物工場  
 新製品の量産化が遅れたこともあり期初計画に対して減収
- セグメント利益  
 主に新電力事業における資源高による下振れの影響並びに植物工場事業の減収などにより、期初計画比で減益

## 事業概況

エネルギー	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内約151MW（60拠点以上）の太陽光発電保有、小規模風力発電も営むなど今後も増設計画、農地シェアリングも展開</li> </ul>
新電力	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自社電源を持ち、電力調達のリスクも軽減</li> <li>■ カーボンニュートラル対応のサービスも展開し需要家の脱炭素ニーズにも対応</li> </ul>
植物工場	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 国内5カ所に完全閉鎖型植物工場を保有しグリーンリーフレタスなどの野菜を栽培・販売</li> <li>■ 付加価値高い商品開発や地産地消などを推進</li> </ul>

# 増配のお知らせ

## 期末配当：業績修正に伴う増配

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回配当予想 (2022年5月11日公表)	40円00銭	50円00銭	90円00銭
今回配当予想 (2022年11月10日公表)	同上	<u>60円00銭</u>	<u>100円00銭</u>

詳細については、本日別途開示いたしました「2023年3月期通期連結業績予想の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正（増配）に関するお知らせ」をご覧ください。<https://pdf.irpocket.com/C3156/aG1f/ljpo/LVZo.pdf>



# レスターグループ 経営理念

## ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、  
社会の発展に貢献します

## ビジョン

あらゆるニーズに対応できる  
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します  
世界・社会貢献・共創と革新

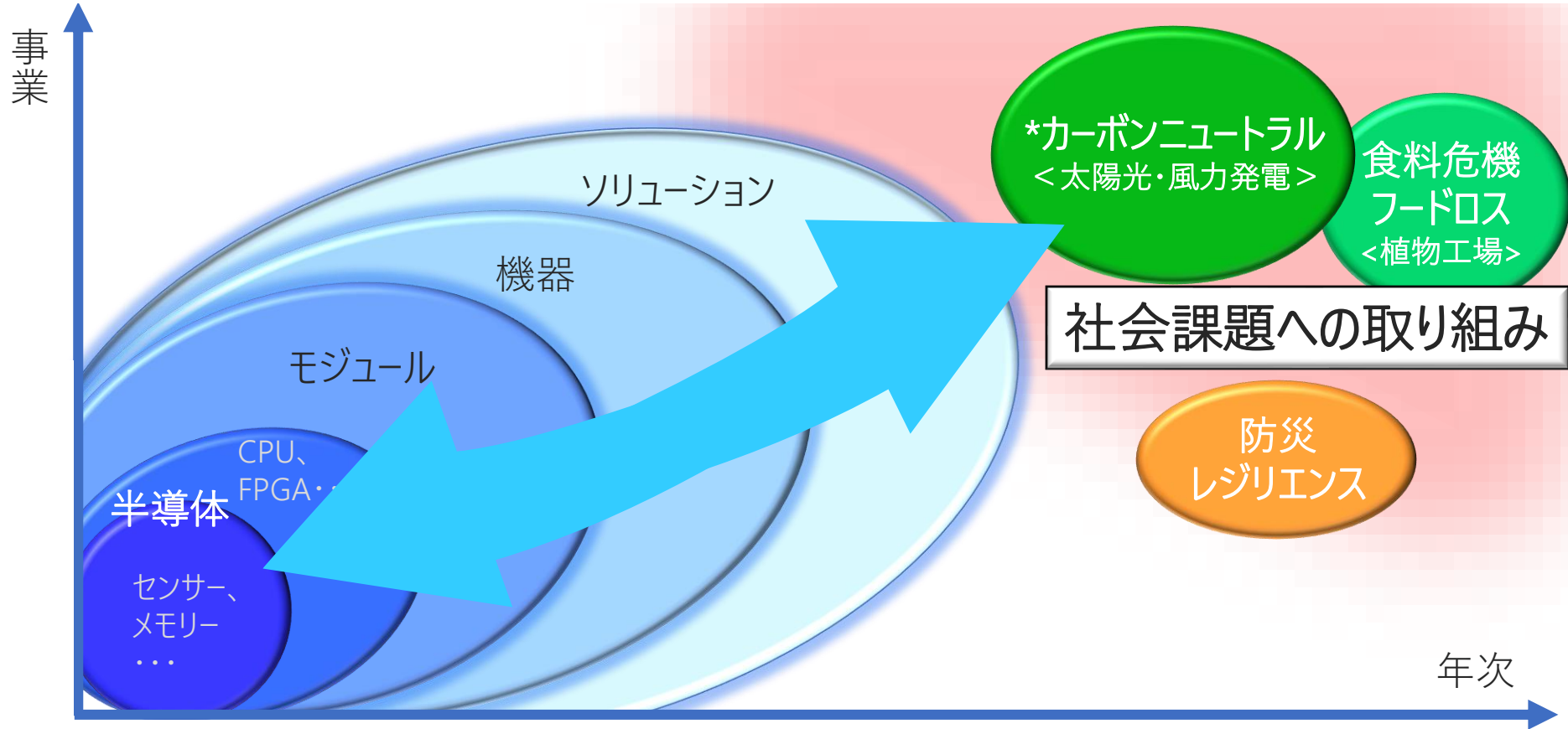
## バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します





# レスタ-グループの取り組み方向性



\*カーボンニュートラル：実質炭素排出ゼロ

## エレクトロニクスの情報プラットフォーム

世界中の課題を解決する。

革新的ビジネス  
の創出

情報×技術  
付加価値の向上

事業間シナジー

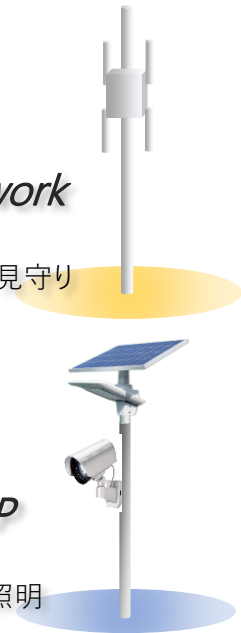
多様な事業展開

1. レスターグループCEATEC展示（自治体へのソリューション提案）
2. グリーンローンによる再生可能エネルギーへの投資
3. Konno & レスター財団：第1回助成決定
4. レスタービジネスマッチングサービス開始（社会課題解決促進とビジネス創出）

## 2. CEATEC 出展：自治体が抱える社会課題に対するソリューション紹介

### 情報Network

ローカル5G  
学童・高齢者見守り



### 防災・BCP

スマートポール  
太陽光発電照明

## データ連携

パートナー企業との共創



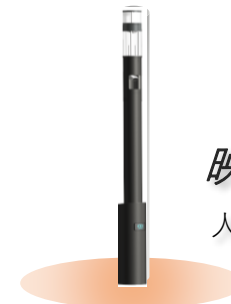
サイネージ・スマホを利用  
ソリューション提案



植物工場小規模ユニット  
エネルギー管理

### 映像解析技術

人流/動態検出・計測



「エレクトロニクスの情報プラットフォーム」として

「データ取得」から「データ連携」による社会課題に向き合う自治体へのソリューション提案

本件に関する特設サイトはこちら > [https://www.restar-ele.com/ceatec2022.html?utm\\_source=ceatec&utm\\_medium=Referral&utm\\_campaign=financialresults\\_2022](https://www.restar-ele.com/ceatec2022.html?utm_source=ceatec&utm_medium=Referral&utm_campaign=financialresults_2022)

# 2. 太陽光発電への投資：グリーンローンの活用



日本格付研究所

プロジェクト内容評価

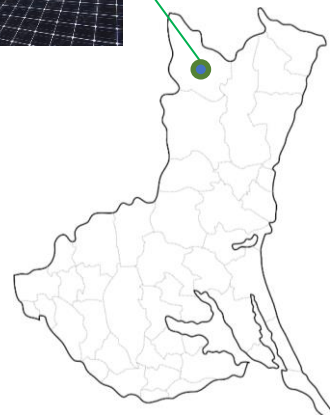
グリーンファイナンス・フレームワーク  
"Green1(F)"の評価

三井住友信託銀行

25億円調達



(イメージ)



■茨城県大子町太陽光発電所の概要

所在地	茨城県大子町
発電電力	13.5MW
年間予想発電量	14,878,107 kWh
年間 CO2 削減量	約 5,765 t

マテリアリティの一つである「環境にやさしい社会をつくる」を  
外部評価を得た資金調達にて実行

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://pdf.irpocket.com/C3156/f909/Ran0/D97M.pdf>



# 3. Konno&レスター財団の取り組み

一般財団法人

## Konno&レスター財団

### 2. 社会貢献：財団共同設立

#### ～ 社会貢献への想い～



品種改良

農林水産業における技術の発展の一助へ  
「食」に関わる課題解決に向けた技術の進化を広く支援  
グローバル社会の持続可能な発展に寄与



生産技術

一般財団法人  
**Konno&レスター財団**

助成対象テーマ：農林水産業における革新的・先進的技術に関する研究

- ✓ 植物工場／施設園芸
- ✓ 海洋養殖／陸上養殖
- ✓ 環境保全とバランスの取れた林産技術

2022年1月20日設立、2月から助成対象案件募集活動開始

<https://kr-fd.or.jp/>

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://www.restarap.com/news/3541/>



(既報：22年3月期 第3四半期決算発表資料)

■ 2022年8月：初回助成

総額900万円、8件の助成決定  
(一般部門6件、若手部門2件)



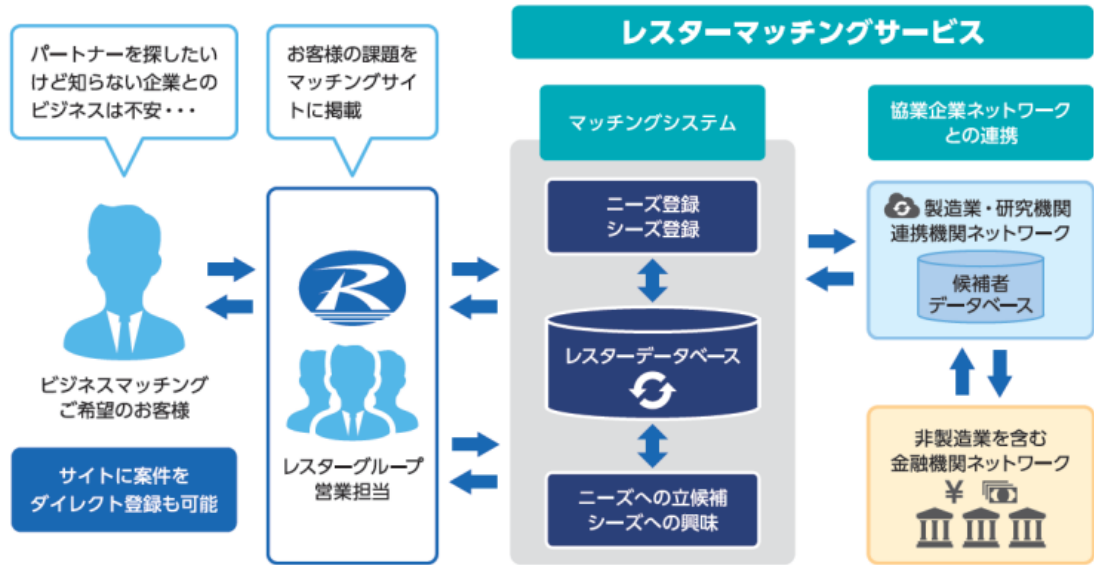
農林水産業における技術の発展の一助となることを目指し、安全・安心な「食」に関わる課題解決に向けた技術の進化を広く支援し、グローバル社会の持続可能な発展に寄与することを目的として活動継続

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://kr-fd.or.jp/news/20220920/>



# 4. ビジネスマッチングサービス開始

## ■ ビジネスマッチングスキーム



## ■ 狙い

- 自社のビジネス上の課題解決を図る
- 商談の場を通じたマーケティング
- 新規企業との接点・関係を構築
- 新しいビジネス領域の可能性を模索・評価
- Web サイト内探索時に他社の課題に対しマッチング候補者として立候補

レスタードatabaseの顧客基盤を活かしたステークホルダーへの貢献とビジネス機会の創出へ

本件に関するプレスリリースはこちら > <https://pdf.irpocket.com/C3156/vlQV/c01R/Gm6E.pdf>



## <お問い合わせ先>

レスターホールディングス 広報・IR部

Mail to : [irpr@restargp.com](mailto:irpr@restargp.com)

---

### <将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

